



# 袋小だより

令和4年10月号  
北区立袋小学校

URL <http://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/fukuro/index.html>

## 二学期制のよさを生かして

副校長 安岡 京

北区立小・中学校、幼稚園における二学期制は、平成18年度に導入され、「教育課程を適切に実施するための指導時間」や「子供たちに生きる力を育むための児童・生徒と教員のゆとり」の確保を主な目的とし、以下の「基本的考え方」に基づき、全校・園で取組を進めてきました。

- 基本的考え方1 一つの学期を長期的なサイクルで捉え、ゆとりの中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。
- 基本的考え方2 学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。
- 基本的考え方3 長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

(東京都北区立学校における「二学期制」検証結果報告書より)

これらの考え方の中、袋小では長期の学期サイクルを生かし、生活科や総合的な学習で課題にじっくり取り組んだり、長期休業前に急いでまとめをするのではなく9月に集中してまとめを行ったりしています。夏季休業中の自由研究や自由工作も、自分の関心や学習で学んだ内容から発展させて取り組んだ作品も多く、夏休み作品展ではその成果をご覧いただけたかと思います。

また、次の長期休業である冬休みまでは、夏休み以降とても長く感じられる4か月弱ですが、10月半ばに1学期終業式と2学期始業式を迎え、個人や学級で2学期のめあてを立てたり、新しい係になったりすることで、子供たちも気持ちを切り替えられています。

間もなく、1学期の終業式を迎えます。4月からのお子さんの学習や学校生活における取組状況、そしてその成果や課題などを、通知表としてご家庭にお伝えします。本人の頑張りを認め、よりよい学校生活について話しながら、一人一人に担任から手渡します。ご家庭でも、どんなところを頑張ったのか、2学期はどんなことをしてみたいかなど、お子さんと話し合っただけであればと思います。

## 10月行事予定



日	曜	内容	日	曜	内容
1	土	都民の日	20	木	C4 就学時健康診断(12:45頃下校)
2	日		21	金	
3	月	委員会(10月分)	22	土	
4	火	社会科見学(5年)	23	日	
5	水		24	月	A4 4年1組は研究授業でB5 視力検査(5年)
6	木	B6	25	火	視力検査(6年)
7	金	B6 終業式	26	水	視力検査(3年) 岩井前日健診(5年)
8	土	秋季休業日始	27	木	岩井自然体験教室始(5年) 視力検査(4年)
9	日		28	金	視力検査(1年)
10	月	スポーツの日 秋季休業日終	29	土	岩井自然体験教室終(5年)
11	火	A5 始業式 安全指導	30	日	
12	水	A4(1~5年) A6(6年) アスレチック・チャレンジ(6年)	31	月	振替休業日(5年) 視力(2年)
13	木	B6 社会科見学(4年)<治水資料館>	11/1	火	B6 生活科見学(1年)
14	金		2	水	
15	土	A3 土曜授業(公開)	3	木	文化の日
16	日		4	金	生活科見学予備日(1年)
17	月	クラブ(10月分)	5	土	
18	火	B6 避難訓練	6	日	
19	水	A4			

## 夏休み作品展の様子 (9月10日～9月16日)



1階の様子



2階の様子



3階の様子



4階の様子

夏休み作品展が行われました。子供たちは自分のクラスの作品だけでなく、他のクラスや学年の作品を楽しむ姿が見られました。多くの発見ができたことでしょう。

各学年、工夫を凝らした作品や研究が多く、大人も子供も楽しむことができる作品展でした。(学校のホームページには写真をカラーで掲載します。よろしければご覧ください。)

## 今年度の水泳指導について

体育主任 近藤 央堯

今年度の水泳指導が9月9日で終了しました。7月の前半は天候に恵まれないこともあり、子供たちからはため息が聞こえていましたが、限りある水泳指導の時間の中で、めあてに向かって一生懸命取り組んでいました。また、友達同士でアドバイスをしたり、先生のアドバイスを受けて練習したりする子がたくさんいました。

夏季の水泳指導では、気温や水温が高くなりすぎて中止になることもありましたが、自分の苦手な泳ぎを克服しようと努力している子がたくさん見られました。夏休み中のプールに積極的に参加する子供たちの成長を感じました。

今年度の水泳指導も大きな事故なく無事終わることができました。保護者の皆様には水着やプールカードの準備、体調管理にご協力いただきありがとうございました。



## 特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター 高野 愛

袋小学校では学級担任に加え、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員、巡回指導教員、巡回心理士、スクールカウンセラーなどが連携し、児童を見取ることで、より一人一人に合った支援ができるよう体制を整えています。

特別支援教室やことばの教室、日本語学級では、個々の課題に応じた指導を週に1～2時間程度行い、児童が学校生活を円滑に過ごすことができるようにしています。

教育現場にも、児童の多様性を認め、生かしていくことが求められています。その中で特別支援教育は、決して特別なものではなく、児童一人一人の個性を認め、伸ばしていくために必要不可欠なものなのです。

児童が自己を理解し、自分も他人も愛する大人へ成長するために、学校や家庭、その他の機関が連携し、児童を理解し認めていくことが大切です。今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。